

人間の価値は地位や名望のみに依るものでない。

真に義務に忠実で正しく強くしつかりした者こそ人としての価値があるものである

蘇 峯



国家が何をして呉れるかを考えるよりも、国家に対して何をしてやるべきかを考えるべきである。

(ケネディ)

日本スカウト人口総数 94,191 (1963.3.末現在)

受賞 弥栄 = 祝賀会 於 静岡 鮫 磯 流 名 園 喜 久 屋 =

藍綬褒賞 (10.20) BS 県連盟理事長 川井健太郎氏 県知事表彰 (11.3 文化の日) BS 浜松地区委員長 内田六郎氏 藍綬褒賞並県文化功労賞を受賞の榮譽をたたえ、去る 11 月 29 日、静岡・喜久屋旅館 (六田道灌が築造したと云われる鮫磯流名園として有名な) に於て恵まれた天候のもと祝賀会が催される。(当日内田六郎先生は急用の為お見えにならなかつたけれども) 中山連盟長を始め県下、東中西部の BS 運動の権威者 30 余名がお祝いに列した。

先ず森田事務局長司会のもと、中山連盟長のお祝いの言葉に始まり県青少年課長、尾崎忠次氏の我等が師表と仰ぐ連盟長、理事長が藍綬褒賞の榮に浴されていることは全国でも稀であり、益々実践活動に精進し、意を新たにしたいとお祝いの言葉と決

意が述べられた。

又川井理事長から、仕事は一人で出来るものでない。受賞も私が一人で貰つたものでない。親和、誠実、奉仕を社是にしておる。奉仕の精神を以つてすれば、必ずむくいられる時が来る。これも皆さんのお蔭の賜である、とお礼のあいさつがあり、最後に中山連盟長の、益々人作り運動に精進しよう——と。県コミの弥栄三唱で散会。なお稱勝児童館長 (地区名誉役員) も地区委員長と同日、社会教育功労者として日本社会教育協会より表彰されました。心から弥栄を送ります。



菊量る文化の日県文化功労者として、県知事より表彰された内田六郎氏

浜松ボーイスカウト10周年をかえりみて / 内 田 嘉 一

昭和 29 年 6 月 7 日、故木全大孝師と私との橋上の話し合いから浜松のボーイスカウト運動が始まり、同年 9 月 11 日の浜松 1 団の結成式により浜松のボーイスカウト教育が始まつて、遂に 10 年を経て、今日の隆盛を見た事は誠に欣快の極みであります。

他の仕事であつたら 10 年の年月はそれ程長いものではありませんまいが、それまで無かつたものを初めてつくり、それを育てての、然も、犠牲と奉仕によつてなり立つ此の運動の 10 年は意義深い、そして忘れ難き 10 年でありました。

一人静かにもの想う時、過ぎし日を省りみて、難問や難関に打つかる度に「もし失敗したら再び起す事は出来ないのだ、多くの少年達の幸福の為に、道は一筋だ」と決意を固くして、或る時は断固猛進し、或る時は方針に苦慮しつつ精進して参りました。其の間、人來り、又人去り、其の変転少からざるものがありました。此の道をよく理解し、貴き奉仕に挺身され、又続けられつつある多くの同志や先輩諸氏の、日毎に増し、精進されて居ることは感謝に堪えず、又感激に堪えません。

楽しい事も多かつた。苦しみも味つた多くのよき知己も得た。私はこの 10 年の間に多くの苦難や試練を体験し貴重な人生勉強を致しました。スカウト運動を通じ私は自己の成長したことと思ひ深く感謝して居ります。

10 周年大会は盛大に有意義に挙行せられました。誠に嬉しい事でありました然しその日は更に将来への発展の首途でなければならぬと思ひます。

地区委員長が木全大孝師から内田六郎先生に、地区コミが内田嘉一から鈴木順一氏に、事務長が児玉巖一牧野績一三輪悦爾の諸氏へとバトンが受継げられ、地区委員会、各運営委員会の確立と共にその組織と機構が強固になり、基礎づくりの

時代から漸く脱し、将来への飛躍の為の態勢が整いました。然しボーイスカウト運動の茨の道はまだまだ続く事と思ひます。この聖道に携わる者その本質をよく確め、相援け、協力し合つて愈々発展の一途に精進を続けたいものです。

茲に「スカウト浜松第 5 号」に掲載された記事を今一度読んで反省の資とし、更に将来への指針としたいと思います。

三島総長の言葉より

- ◎ スカウトの役職を、自分の肩書にしたがる者
- ◎ スカウターを 1 人でも多く自分の陣営に引き込もうと躍躍する者
- ◎ スカウト運動のボスの存在になる者
- ◎ 突修所、ギルウエル修了である事を鼻にかけたがるスカウター
- ◎ スカウト運動を自己の為や、私益の為に利用しようとする者
- ◎ 「道の為」の批判でなく「批判の為の批判」を口軽くする者
- ◎ 他のスカウターの業績を妬む者
- ◎ 行いや、実行力の伴わぬスカウトに進級章や技能章をやらたにくれたがる者
- ◎ 派手な行事にばかり目をくれたがる者
- ◎ スカウトの事を忘れ、個人の感情だけで引つ張つて行くとする者

以上の気持が少しでもあつたとしたら、それは真のスカウト道にてつた人ではない。これは世間一般へも通ずる人格の道である。素直に功を人に譲れる人、これが私達の求めるよいスカウターである。(県副コミッショナー)

(日本連盟総長三島通陽氏の言葉より抜粋)

募 集 = 新年名刺交換 =

新春を寿ぎ、新年の名刺広告を募ります。締切 12 月 20 日 申込先地区事務所及び事務長まで 掲載料 1,000 円 (B4 1/12) 掲載号数 No. 11 号 (年間無代発送) スカウト運動に御理解、御力添をいただく方、どなたでも結構です。御問合せでしたら地区事務長・三輪まで。



10 周年大会第 3 部成人の部式典に於て、10 周年を顧みてスピーチ、日連伝達有功章 (郭公章) を受ける県副コミッショナー 内田嘉一氏



⑧

# 指導者道 (其の一) (浜松地区編)

## 1. BS教育に於ける指導の意義

**ス** カウティングと言うものは、それは指導者(主としてプログラム指導者、隊長、副長)が少年達に対して、将来立派な国民となる為に、少年時代の彼等の校外に於ける生活をゲーム化して指導する事である。現代の少年達が最も興味を持っているものは、野外に於ける生活である。その中でも自然界の研究や、森林の知識や、森林に於ける各種の冒険、探検、工作等は彼等の最も好むものである。而もそれは、興味を与える事と同時に、体育と知育を施すところに此の教育の意義がある。

現在青少年の欠点とその対策

- 1、自己訓練の欠乏により、無信仰であり無責任である。  
愛国心はなく、無規律であり、利己心ばかり強く、他人を無視し、嬌情、遊惰、放縱に流れ易く、残酷を好み、従って道徳標準が低下している。
- 2、これに対し、スカウト指導者による指導によつて、品性教育を施し、善き環境を与え、名譽感を満し、義務を果す事を体得し、常に自己訓練に努め、責任観念旺盛となり、手技は器用になり、特技を助長し、幸福感を味い、常にフェアプレーであり、而も社会に奉仕する心が身について来る。
- 3、衛生及び自分の体に關する知識の欠乏している事により、身体が虚弱で早死する者が多く、心理的な欠陥があり又肉体的な欠陥が多い者がふえて来る。

いる。

4、スカウト訓練によつて、身体的に健康になり、保健衛生の実行により知識は向上し、スカウティングとしての野外訓練によつて益々健康は増進して来る。

**指** 導者の如何によつては、これらの対策に依つて少年達は見ちがえる様に立派な少年になる事が出来る。指導する事の意義は、誠に大なるものがある。

## 2. 指導者精神と指導力

- (1)少年の良い点を伸ばしてやる。
  - (2)少年の個性を伸ばしてやる。
  - (3)少年達の訓練環境の足りない所を補つてやる。
- という事を原則として考えて行く。  
反省資料として
- (1)なぜ自分は指導者という仕事を引き受けたか。
  - (2)自分の時間を本当に喜んでスカウトの為に捧げているかどうか。
  - (3)自分の隊の隊員をどの位まで知っているかどうか。
  - (4)自分の生活の趣味は、指導者として受くべき事で占めているかどうか。
  - (5)指導者として本当に一生懸命をやっているか。
  - (6)いつも冷静に自分の責任を考える事が出来るかどうか。
  - (7)スカウトは自分を兄として、又友達として考えているかどうか。
  - (8)自分と同じ様に忙しい人に、この仕事を勧める事が出来るかどうか。

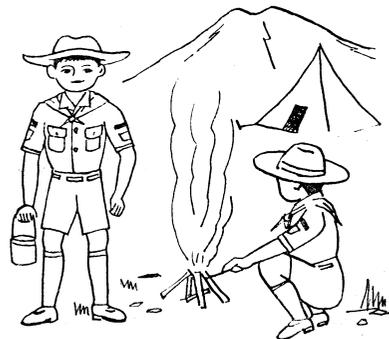
以上の各項について、常に反省し、その足りないところはよくカバーして行く様に努めなければならない。

## 3. ボーイ・メンであれ

**少** 年をよく理解する事が出来、更に宗教心、奉仕心を持つ事が大切である。

B-P脚は、ボーイ・メンである事、これが指導者として最も大切な事であり、これが最適任者である、と言っている。

- 1、指導者は決してあらゆる面の知識の所有者である必要はない。
  - 2、常に少年と同じ平面に自分を置く事の出来る人、それは、少年の希望に共鳴して行ける人である。
  - 3、少年の年齢に応じて各々の心理を会得していること。
- 然し心理学者になれという事ではない。決して少年達は道学者を喜ばないものである。



## 盛功裡に終る

### オリンピックを迎える県民の集い

明年10月に開催するオリンピック東京大会の意義を県民に周知徹底し、県民こそつて、積極的に協力する気運を高めると共に、このオリンピックを機会に県民の道徳の昂揚や健康増進につとめる目的をもつて去る10月30日、県民の集いが催され、当地区として3名の代表が出席し意義つけた。

先ず10月29日愛知県境より本県入りする新生活運動協会主催の聖火コース国土美化大行進を湖西町で出迎え、当日会場では尾崎忠次氏のかかげる聖火と一行を拍手で歓迎、齋藤県知事のあいさつ、総理府総務長官、県議会議長等の来賓の祝辞をいただき、又国土美化大行進を代表する尾崎氏から力強いメッセージの伝達があり、ボーイスカウト、ガールスカウトの花束贈呈、ラジオでおなじみの藤山一郎氏に依るオリンピックの歌指導、藤山ファンにとつてはなつかしい、ラジオ体操の歌等が披露された。又静岡婦人会有志100名に依るマスゲーム、東京

五輪音頭、チャツキリ節が披露、自衛隊の音楽演奏等多彩な催しのうちに、オリンピックを迎える県民の集いのムードを盛上げた。以下は当日採択されたスローガンである。

- 1、オリンピック精神を正しく理解しよう
  - 2、外国人と正しく応待しよう
  - 3、公德心を高めよう
  - 4、商業道徳を高めよう
  - 5、みんなで交通規則を守ろう
  - 6、国土を美しくしよう
  - 7、スポーツに親しみ健康なからだをつくらう
- 以上

### 『よい子』 作詩/山下まつの

- 1、みんな良い子だ 引佐の子  
カブスカウトの 子どもたち  
たいちようさんはじめとし  
いつもよいこと しましよう  
明るくかたる いじらしさ
- 2、パスに乗つても さあどうぞ  
としよたちを たしたわつて  
カブスカウトの たしなみを  
すなおに守る よい子たち

だれにも負けぬ こころいさ

- 3、きょうは楽しい 舎営会  
うたやゲームの そのあとで  
お母さん達と かりあひ  
一夜をすごす ゆめごち  
日の出にまけず すすもうぜ

このうたは、引佐1団のカブ隊の活動をみて、あるお婆さんがうたつたものですまた引佐1団井村隊長は、この歌に負けない様、もつともつと頑張りますと張切っています。

## 結成弥栄

### ☒ BS 浜松第12団

- 育成会長 加藤房之輔
- 団委員長 中嶋 圭介
- CS隊長 宮沢 広士
- BS隊長 稲垣 文雄

11月3日住吉町住吉幼稚園内に於て結成 (BS浜松7団より発展的分離)

### ☒ BS 浜松第13団

- 育成会長 池沼 隆一
- 団委員長 菅沼 宏之
- BS隊長 海野 和彦

12月1日南小に於て結成 (駅南地区)

# 飾る、～浜松地区 10 周年記念大会～

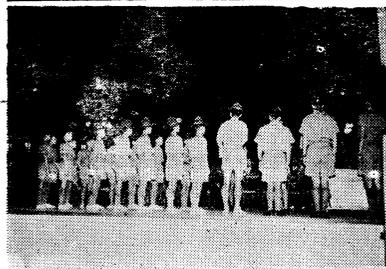
去る 10 月 6 日、浜松市体育館ホールに於て、浜松地区に BS 運動誕生 10 周年を記念して、1 部、2 部、3 部に分け盛大に記念式典を催した。

10 年一昔と申します通り、当地方に BS 運動が誕生してから 10 年、並々ならぬ辛苦と諸先輩達のたゆまぬ努力の積上げが実を結び今日の発展に相成つた事は誠に御同慶に堪えない次第である。ここに数多くの諸先輩並に御理解、御援助をおしませ育て下さった方々に深甚なる感謝と弥栄を送る事を惜しまない。

当日は好天に恵まれ良き式典日和であった。第 1 部に於ては、尾崎県コミッショナー、浜松市議会議長牧野英司氏、皆川教育長、ロータリー、東ロータリー、ライオンズ、青年会議所、河合プラスバンド等スカウト父兄多数を迎え開会した事は誠に意義深いものである。

特に尾崎県コミ、皆川教育長、牧野市議会議長の力強い激ましの祝辞に、ボーイスカウト運動にたずさわる関係者は意を新たに、胸の奥深くきざまれた、何物かがあつた事だろう。

日連伝達表彰、県連伝達表彰、地区表



【写真説明】  
天竜第 1 団結成式風景  
(於 10 月 20 日・天竜市民会館)

彰(4 団体)に心から感謝の意がこめられ、内田六郎委員長から感謝状が贈呈された。

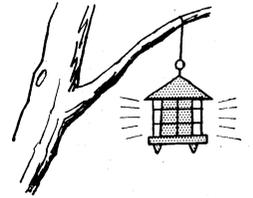
引続き物故者の慰霊祭、木金六孝前委員長、堀江清一(元地区副委員長)杉村孝(元浜松 2 団少年隊長)笠原信三(元浜松 7 団々委員)三沢弘次(浜松 4 団々委員)の五氏に河合楽器プラスバンドに依る永遠のスカウトの静かなメロデー演奏のもとに黙祷を捧げる。宮沢副委員長から物故者に捧げる経歴を讀上げ、そうごんな慰霊の式を終る。

第 2 部に移り、河合楽器のバンド演奏内田博人君のギリシヤジャンボリー派遣の報告。

ボーイスカウト、ガールスカウト、父兄(団委員)に依る歌とゲーム、スカウトにとつても、父兄にとつても楽しみのあるボールつき、風船わり、風船運び、牛おい等 GS に依るチャツキリ節、フォークダンスの披露等、楽しい 2 時間であった。

第 3 部に移り体育館会議室に於て成人

の部式典を催す。先ず 21 氏に対し地区委員長から感謝状の贈呈、特に蔭に陽に此の運動を理



解、育てて下さった古山久一氏及び内助の功として過去 10 年間温く育てて下さった内田三千代氏に感謝の意がこめられた。

又ささやかなビールに依り乾杯、会食 10 年を顧みて、内田嘉一氏のスピーチフリッピンジャンボリーの話、日本人の手先のきょうな話、地区委員長、杉浦英一、柳本、宮沢、内田時世、尾崎忠次氏等のスピーチ等々……書き上げれば枚挙にいとまがない。

尽きぬ話しに午後 8 時 30 分、無事盛大に終幕を飾る事が出来、一同明日から新しく第一歩を踏み出し、正しいスカウト運動のため奉仕に参加出来る誇りを胸に彫み散会した。

## 10 周年記念式典に輝く表彰者 (10 月 6 日・浜松市体育館に於て)

一心から弥栄をおくる一

### 日連伝達表彰 (敬称略)

- 有功章 (郭公章) 内田嘉一 (県副コミッショナー)
- 10 年継続隊褒章 浜松第 1 団 BS 隊
- 5 年 〃 浜松第 7 団 BS 隊
- 5 年特別有功章 稲垣文雄 (現在 12 団隊長) 鴨藤恵四郎、加藤敏雄 (現 7 団隊長)(浜松 7 団 BS 正副隊長)

### 県連伝達表彰

- 感謝章 吉沢純道 (浜松 1 団育成会副会長)
- 善行章 長野玲司 (〃 SS 隊員)

### 地区表彰

- 感謝状 浜松ロータリー C、東ロータリー C、ライオンズ C、青年会議所
- 吉沢純道、鈴木三郎、飯島政次、左右田丈夫(浜松 1 団) 仲山八百吉、天野義雄、伊藤義一郎(浜松 2 団) 内田時世、牧野八郎、竜口和弘、村越春久(浜松 4 団) 近藤勝彦、土谷為吉、妹尾銜作(浜松 6 団) 高柳十吉 西山三枝(浜名 1 団) 杉浦英一、齋藤光夫、加藤三良(浜名 2 団) 古山久一(元城町) 内田三千代(成子町)

## 心理学 少年 (5)

- 第 1 期 (6~9 才) 個人主義時代
- 第 2 期 (10~13 才) 徒党時代
- 第 3 期 (14~16 才) 社会生活時代

### 結成弥栄

#### BS 天竜第 1 団

- 育成会長 高林 貞一
- 団委員長 生熊日出男
- BS 隊長 三室 渡

10 月 20 日天竜市民会館に於て結成

#### GS 静岡第 6 団

- 後援会長 林 良太郎
- 団委員長 武田 晴巳
- 〃 足立 玲子
- リーダー 坂本 君枝

12 月 1 日浜松市民会館に於て結成

## 少年の社会性の発達過程について

に大別せられるが、更に詳しく申し上げますと、

- (1) 1 年生に入学児童は特に生活の変化に注意しなければなりません。生活が家庭から社会に、遊びから仕事に移るので、特に不適応を起さないように注意しなければなりません。
- (2) 1、2 年の時代には学習の基礎的習慣を身につけさせる時です。幼児期の延長で、精神的未分化であるが、追々と発達して、児童らしくなるので、基礎的習慣をこの時期につけさせます。
- (3) 3、4 年は暴れ盛りの「ギヤング時代」であります。自由に伸び伸びと遊ばせることにより、ややもすると万事がだらしなくなる時代でありますからよい習慣をくずさないことに注意する

必要があります。

- (4) 4、5 年頃より急に読書に対する興味が増して来ますのでこの時期に、正しい読書を指導したいものです。又この頃からお小遣いを計画的に使用することが出来るようになるので、額を定めて与えるようにして、計画的に出納する習慣をつけさせ、よく指導することが必要です。
- (5) 5、6 年は抽象的な思考力や論理的な記憶力の特に発達する時期でありますので、特に学習に於て不適応を示さないように注意しなくてはなりません。又、安全性が著しく発達して、所謂、徒党時代であるので、よきにつけ、悪しにつけて、友人関係は重要な因子となります。(四面下段につづく) ◆

# うごき (浜松地区)

(1963.9.29~12.10)

- 9月29日 浜松カトリック協会BS説明会 内田嘉
- 〃 天竜市第1団審査 宮沢、大杉、内田嘉
- 10月2日 コミ会議 法林寺
- 6日 地区10周年大会 浜松市体育館ホール 350余名参加
- 10日 野外活動連絡会議 内田嘉、宮沢、三輪 体育館
- 12日 浜松12団下審査 内田嘉、鈴木順、牧野 住吉幼稚園
- 13日 シニヤ問題会議 静鉄本社
- 16日 浜松12団県審査 森田県事務局長、内田嘉、鈴木順、牧野 住吉幼稚園
- 18日 野外活動連絡会議 三輪市営プール
- 19~20日 東海ブロック会議 内田嘉、宮沢、鈴木順、牧野、後藤、美和、大杉、鈴木正、三輪
- 20日 天竜BS第1団 結成式 天竜市民会館
- 22日 財団法人設立協議会 内田六、鈴木順、内田嘉、三輪 (市民会館)
- 26日 三土会 法林寺
- 27日 交通安全奉仕 浜松2、4、9、12、BS隊40名 市内5カ所
- 28日 野外活動会議 宮沢、三輪 元城小内
- 〃 財団法人設立理事依頼 内田六、内田嘉、内田時、宮沢、日樂、信用金庫、河合楽器、遠鉄、東陽興業訪問
- 29日 浜松13団下見 牧野
- 30日 オリビックを迎える県民の集い 内田嘉、古橋、三輪

- 駿府会館
- 10月31日 コミ会議 児童会館内事務所
- 11月1日 事務所移転 児童会館内
- 3日 浜松12団結成式 井野、塚本 内田嘉、県副コミ
- 〃 天竜市制5周年パレード参加 天竜市内
- 5日 浜松13団県審査 井野、内田嘉、塚本県副コミ、宮沢、牧野
- 6日 野外活動会議 内田嘉、宮沢 野口、三輪 体育館会議室
- 16日 三土会 法林寺
- 21日 地区委員会 法林寺
- 24日 GS12団結成式 内田嘉、牧野 第一幼稚園
- 29日 県連受賞 藍綬褒賞祝賀会 宮沢、内田嘉、三輪 静岡・喜久屋
- 30日 13団誓いの式 牧野
- 12月1日 BS 浜松13団結成式南小学校 GS 6団結成式浜松市民会館
- 3日 県コミ会議 内田 県連事務局
- 5日 野外活動指導 内田、宮沢、市営プール
- 7~10日 BS講習会 天竜・光明山

## 募集、財団法人「ボーイスカウト静岡県連盟維持財団」設立について

次代を担う立派な青少年を数多く社会に送り出すことは、祖国発展の礎であり国際友愛の精神の涵養は世界の平和に繋るものであります。ボーイスカウトの教育はこの両面を目的にしていますので、本運動が県下全般に普及することを希うものであります。それに子供達を良くしたいと云う熱意と愛郷、愛国の精神に燃えて奉仕する指導者を養成することや、社会人の理解を深めるための啓蒙活動、又正しい教育法を実施さす為の指導者の研修会を催すなど、種々の施策を積極的に実施する必要があります。

現在浜松地区として内田六郎地区委員

性の原理」に従ってしつけなければなりません。悪い面を禁止することによつてしつける消極的方法ではなく、進んでよいことが出来るように、又よい事をしようとする態度や習慣を身につけさせるように指導する事が「新しい、ほんとうのしつけのあり方」であります。以上の意味により、ボーイスカウト教育が如何に少年の発達過程や、心理的に於て、必要な時期に、適確な方法によつてしつけて居るか、又人間形成に寄与出来るかが、証明されますし、如何に必要であるかがよく判ります。

長を中心に、財団設立について積極的に啓蒙を致しており、川上日樂社長、中村達一郎信用金庫理事長、鈴木遠州鉄道社長、戸田東陽興業社長、河合河合楽器社長、内田六郎地区委員長長の6氏が、御理解をいただき、理事、監事を承諾下さいました。従つてこの運動を県下全般に普及させる為に、御理解、御賛同いただきたいと存じます。詳細につきましては事務局等御問合せ下さい。

## 富山県とのスキー交歓会

日時 39年1月3日出発6日帰浜予定  
場所 高岡市及び城端  
スカウト51名、リーダー9名 計60名  
富山県より招待あり、希望参加者は原則として来夏富山県スカウトを分泊可能予定の出来るスカウト(家庭)とする。この事について地区委員会の決定通り、各BS隊3名宛宛委員長さんに於て責任を以て御処理する事になりました。よろしく御願ひします。

## ＝あ と が き＝

1963年もあとわずかで暮れようとしております。静かに一年をかえりみますと多難な年でした。先ず、2月に浜名6団BS隊誕生、続いて3月浜名7団BS隊、浜松11団BS隊2ヶ隊、天竜1団BS隊、浜松12団BS、CS隊、浜松13団BS隊、浜松4団SS隊、浜松10団SS隊、GS静岡12団、GS静岡6団、計SS2ヶ隊、BS7ヶ隊、CS1ヶ隊、GS2ヶ隊の兄弟が誕生。

カプラー、岐阜スカウト分宿、BS講習会2回、CS講習会1回、体操祭浜松大会参加、富士訓17名派遣、突修所4名派遣、日本ギルウエル1名派遣、TTC派遣1名、ギリシヤ世界ジャンボリー1名派遣、浜松地区合同野営開催、全国勤労者水上大会奉仕、東海ブロック会議3ヶ日開催、地区10周年記念大会、内田六郎地区委員長県令に依り文化功労者として県知事表彰、各種団体指導説明会(衆議院改選、米大統領暗殺)と数え上げれば限りがありません。発展の一路をたどりつつ1963年も暮れようとしています。新しい年に大きな期待をいただきながら——。新しい年こそもつともつと飛躍しよう。広報スカウト浜松に寄せられた年間のご協力に感謝しつつ筆をおきます。(弥栄)

## 【お知らせ】

地区事務所が移転されました。  
新事務所 浜松市利町70-4  
浜松児童会館内 TEL浜松 2-0073  
緊急連絡先 浜松市成子町117  
(内田方) TEL2-3018

## 発行所 No.10

日本ボーイスカウト浜松地区  
事務所 浜松市利町70-4  
児童会館内 TEL2-0073  
連絡所 浜松市成子町  
TEL 2-3018  
編集発行責任者 三輪 悦爾  
昭和38年12月10日 発行



【写真説明】 浜松12団カプ隊運動会仮装行列風景(インディアンページェント) 11月20日於住吉幼稚園グラウンド